

左京三条一坊九坪の調査

—第510次

1 はじめに

個人住宅の建設にともなう調査である。調査地は、平城宮南辺に接する平城京左京三条一坊九坪の中央付近に位置する。南北11m、東西3mの調査区を設定した。調査は2013年4月1日に着手し、4月5日に終了した。

九坪内の調査区の近隣では、第245-5・303-5・343次調査がおこなわれているが、いずれも小規模のため坪の性格を決定づけるにはいたっていない。いっぽう第230次調査では、十五・十六坪で大型建物を複数確認し、2つの坪が一体として官衛に利用されていたと推定されている¹⁾。また第304次調査では、十坪の西半部で建物跡を確認しているが、十坪の性格については明確になっていない²⁾。

2 基本層序

現地表を含む厚さ約30cmの現代の造成土の下に、旧耕作土・床土が約30cm堆積し、その下が黄灰色粘質土の地山である。遺構は地山上面で検出され、標高は61.1m。調査区中央から北は、現代の廃材投棄穴3基により攪乱を受けている。

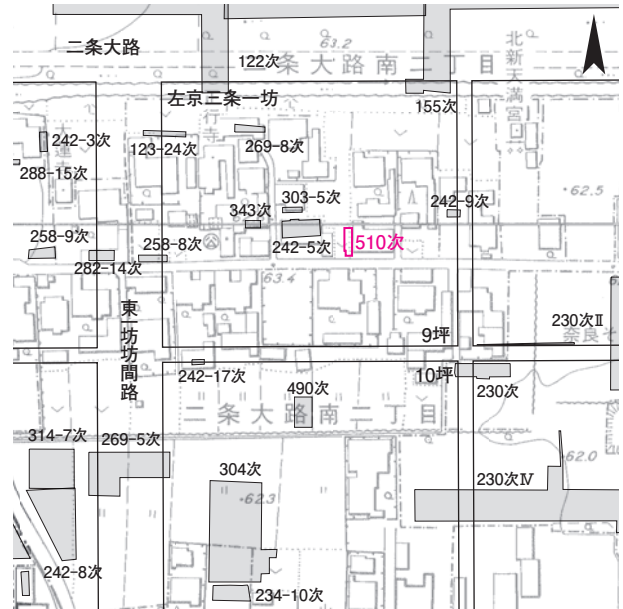
3 検出遺構

土坑SK10470 調査区南東隅で検出した性格不明の土坑。土坑は調査区外に広がるため規模は不明であるが、東西30cm、南北80cm分検出した。埋土からは弥生時代前期の土器と磨製石斧1点が出土した。

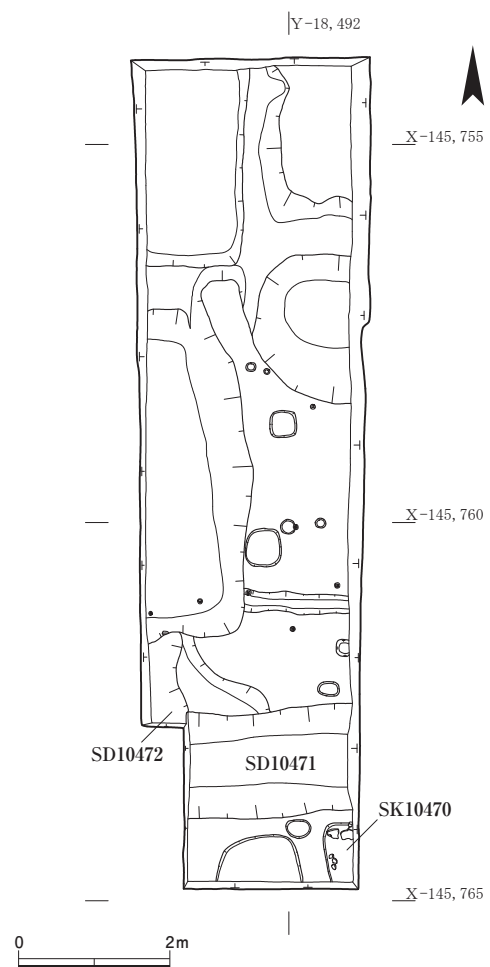
東西溝SD10471・南北溝SD10472 調査区南寄りで幅約1.4mの東西溝と、調査区西壁際でこれに接続する南北溝を検出した。これらは、それぞれさらに東と北へ延びるが、東西溝SD10471が西方へ延びるかは不明。出土遺物から、近世に開口、近代には埋没した水路もしくは濠の可能性が高い。
(松下迪生)

4 出土遺物

土器 整理箱1箱分の土器が出土したが、奈良時代の土器は極めて少ない。弥生土器は土坑SK10470からは



図Ⅲ-37 第510次調査区位置図 1:3000



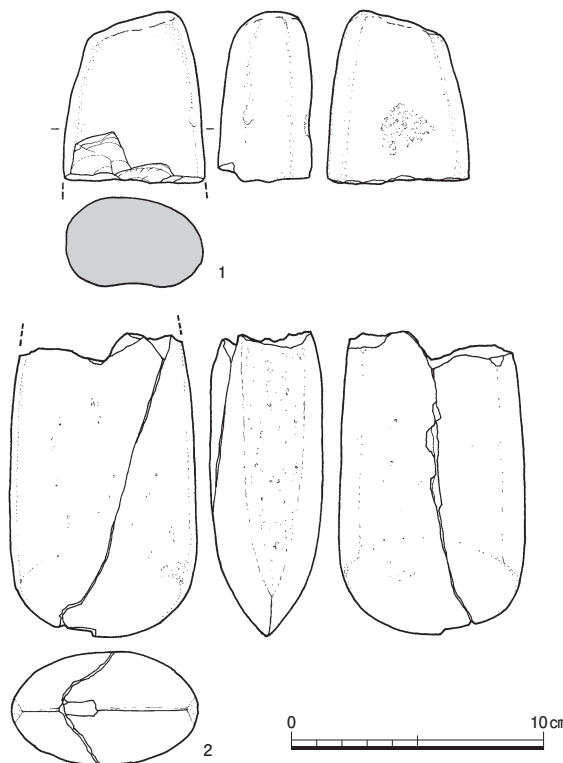
図Ⅲ-38 第510次調査遺構平面図 1:100

表Ⅲ-3 第510次調査出土瓦磚類一覧

軒丸瓦			その他	
型式	種	点数	種類	点数
6225	A	1	隅木蓋	1
			土管	1
軒丸瓦計		1	その他計	2
	丸瓦		平瓦	磚
重量	4.381kg		7.48kg	0
点数	23		67	0



図Ⅲ-39 第510次調査出土瓦 1 : 4



図Ⅲ-40 磨製石斧実測図 (1 : 第510次、第490次) 1 : 3

ほ1個体分出土したが、残存状態は良くない。弥生時代前期の器壁が薄い甕で、口縁部外面に6条の沈線を巡らす。平城宮兵部省下層³⁾で比較的まとまって出土した土器に類する。東西溝SD10471・南北溝SD10472からは土釜、瓦質播鉢、天目茶碗、染付などが出土したが、明治時代に下るものはない。

(神野 恵)

瓦磚類 出土した瓦磚類を表Ⅲ-3に示した。軒瓦の出土は、上層で検出した中世以降の溝SD10473からの軒丸瓦6225A型式1点のみで、軒平瓦の出土はない。6225AはⅡ-1期に位置づけられているが、平城還都後の第二次大極殿・朝堂院にも用いられているおり、その他、西隆寺の境内や左京三条二坊の長屋王邸など京内の各地からも多量に出土している。また、隅木蓋瓦とみられる瓦片が1点出土している。

(川畑 純)

石器 磨製石斧、砥石片、安山岩製の剥片などが出土した。図Ⅲ-40、1は磨製石斧の基部である。刃部は欠失する。表面は丁寧に研磨され、敲打整形の痕跡がほとんど見られない。製作痕跡ではないが片面にあばた状の敲打痕を残す。残存長6.8cm、同幅5.6cm、同厚さ3.7cm。土坑SK10470出土。同図2は第510次調査区から南へ約

120m離れた第490次調査区の性格不明土坑から出土した太形蛤刃石斧⁴⁾。基部を欠失するが全面丁寧に研磨される。残存長12.0cm、刃部幅6.1cm、厚さ4.4cm。両者の石材は酷似し、玄武岩あるいは安山岩製である。

(芝康次郎)

5 まとめ

今回は奈良時代の遺構は認められなかったが、調査区南東部で検出した弥生時代前期の遺物をともなう遺構が注目される。調査地北西に位置する兵部省地区から南西にかけての一带は、自然流路にはさまれた微高地で、弥生時代前期から古墳時代にかけて集落が形成されたと考えられている⁵⁾。本調査では、兵部省下層の集落の広がりを考えるうえで興味深い成果を得た。

(松下)

註

- 1) 「左京三条一坊十・十五・十六坪の調査 第230次」[1992平城概報]。
- 2) 「平城京左京三条一坊十坪の調査—第304次」[年報2000-Ⅲ]。
- 3) 『平城報告XVI』2005。
- 4) 「左京三条一坊十坪の調査—第490次」[紀要2013]。
- 5) 前掲註3。